



AAR Japan
Association for Aid and Relief, Japan

特定非営利活動法人 難民を助ける会 〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2 ミズホビル 7F
7F MIZUHO BLDG., 2-12-2, KAMIOSAKI, SHINAGAWA-KU, TOKYO, 141-0021, JAPAN
Tel.03-5423-4511 Fax.03-5423-4450 www.aarjapan.gr.jp

コミュニケーション・オン・エンゲージメント (COE)

本コミュニケーション・オン・エンゲージメントが対象とする期間：

開始日：2018年12月26日 終了日：2021年12月25日

パート I. 最高責任者による国連グローバル・コンパクトへの継続的支持の表明

2021年12月26日

ステークホルダーの皆様へ

私は、特定非営利活動法人難民を助ける会（AAR Japan）が人権、労働、環境、腐敗防止に関する国連グローバル・コンパクト 10 原則を支持することをここに確認し、ここに表明いたします。これは、国連グローバル・コンパクトに対する当団体のコミュニケーション・オン・エンゲージメントです。皆様のフィードバックをお待ちしています。

このコミュニケーション・オン・エンゲージメントでは、当団体をはじめとする各種組織に対して提案された国連グローバル・コンパクトおよびその原則を支持するために当団体が行った取り組みについて説明しています。また、当団体の主要なコミュニケーション媒体を通じて、当団体の取り組みを積極的にステークホルダーの皆様に公表していきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人難民を助ける会（AAR Japan）

理事長 堀江 良彰

パートⅡ. 取組み状況

当会が行なってきた活動は以下の通りです。

- ・ グローバル・コンパクト・ローカルネットワークに参加すること。
- ・ 同ネットワークの分科会に参加すること。
- ・ 当会が有する知見を企業と共有すること。

パートⅢ. 成果の測定

- ・ グローバル・コンパクト・ローカルネットワークに参加しました。
- ・ 同ネットワークの分科会（2021 年）人権教育分科会（2021 年）、CSV 分科会（2021 年）、SDGs 分科会（2021 年）、関西分科会（2021 年）、レポート分科会（2021 年）、サプライチェーン分科会（2021 年）、ESG 分科会（2021 年）、WEPs 分科会（2021 年）に参加しました。
- ・ 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、同ネットワークでもオンラインの分科会活動となりました。そのため 1 対 1 での意見交換は、なかなかできませんでした。が、小さなグループでの議論の時にはできるだけ NGO としての知見を共有することに努めました。
- ・ 同ネットワークに加入する企業の協力を得て、日本国内の障がい者施設に対して、新型コロナウイルス感染予防のため物資を配付する事業を実施することができました。